

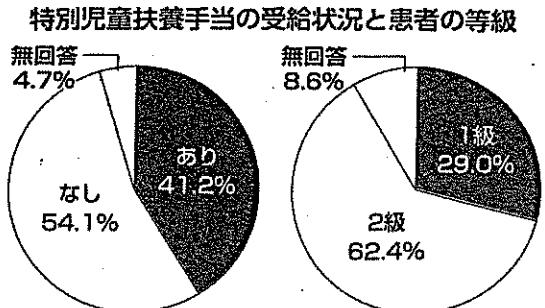
手当・年金認定厳しく

7/24
5.78

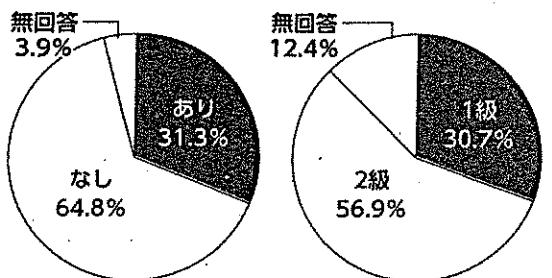
心臓病患者と社会保障

全国心臓病の子どもを守る会は「心臓病児者と家族にとって必要な社会保障制度とは」と題する生活実態アンケート2018調査報告書をこのほどまとめました。全会員を対象に行ったアンケートからは、医療の進歩が患者の生活状況やかかる問題に大きな影響を与えていたことが明らかになりました。（和田育美）

（和田育美）



障害年金受給率と受給者の等級



18歳以上の成人患者に対して先天性疾患に合わない基準で判断する自治体が多いことを挙げています。

常時介護が必要な障害者には年金とは別に特別障害者手当があり、認定基準は障害年金よりもさらに厳しくなっています。

疾患で基礎年金しかもらえないなど、経済的支援の脆弱（ぜいじやく）が見えてきました。障害者手帳を取得できないと医療費助成や保障を受けられない状況も改善が必要です」

18年調査

全国心臓病の子どもを守る会は「心臓病児者と家族にとって必要な社会保障制度とは」と題する生活実態アンケート2018調査報告書をこのほどまとめました。全会員を対象に行ったアンケートからは、医療の進歩が患者の生活状況やかかる問題に大きな影響を与えていたことが明らかになりました。（和田育美）

先天性心疾患で生まれる子もは100人に一人といわれ、治療後の状況は「オーダーメイド」といわれるほど一人ひとり違います。同会の下草前事務局長は「独自で全世代を通じた調査は初めて」と強調します。得られた結果は、国や自治体に届けて、患者・家族が安心して暮らせる福祉制度改善に向けて活用したいと語ります。

と通院を継続している小児は93・4%でした。頻度は「月1回以上」～「3ヶ月に1回以上」の累計数が小児は67・3%、成人では57%でした。県外に通院する患者は小児、成人ともに4人に1人以上でした。

アンケートの自由記述欄には、「通院のために交通費や宿泊費がかかるので障害者手当だけでは足りない」(40代)などの声が寄せられています。

身体障害者手帳について
ては、18歳を過ぎて再認定を受けると、降級・停

た。報告書は厳しい認めた。現状を表してくると摘要します。(ターラフ)
自由記述欄には「特例
が打ち切りになった。薬
は8種類飲み・チアノーネ
ゼ(唇や指先など末梢)
まつしうが青紫色に
なる状態)もあるのに」
「医師からは現状維持か
悪くなると言われた。特
児が来年打ち切られると
困る(小学生になる)と多
分該当しなくなる」と
寄せられています。

(グラフ④)
特別障害者手当は受給「あり」と答えた人は7割で
患者の暮らしに関する報告書は、通学や通勤への悩み、不安を紹介しています。
通勤については、「通院は面接時はOKでも入社後は通院をやめるように指導される」(30代)など記述がありました。

は、申請したが非該当になつた」と回答したのは24・6%。身体障害者手帳を取得していても、障害年金の受給率は3割程度低くなっています。